

ボローニャ大学 協定留学（交換留学）月例報告書（2024 年 1 月）

文化政策学部 芸術文化学科 3 年 尾高美海

みなさま明けましておめでとうございます。尾高美海です。ボローニャでの生活も残り二ヶ月と、帰国する日が近づいてきました。先月のレポートの終わりに私は『体調に気をつけながら過ごしていきたい』と書いたのですが、見事に体調を崩し謎に咳が止まらない二週間を過ごしました。（farmacia にて 3,000 円分の薬を買わされました）
今月は年越しの様子と小旅行の様子をお届けします。

[年越しの様子]

若者が集うボローニャでの年越しを体感するため、私はチェントロにある広場でカウントダウンを待っていました。時間が近づくとあたり周辺は一斉に花火を打ち上げたり爆竹を鳴らしたりとこんなにもカオスなボローニャは初めての体験で、日本ではまずありえない光景だった為非常に新鮮でした。私は、日本には無いイタリアの文化が好きです。誰かと話す時は「come stai?」別れ際や店を出るときには「buona giornata」と、自然と相手の気分が良くなる会話のキャッチボールがされるイタリアの文化を、帰国後も大切にしたいです。

[一月の小旅行]

まず、お正月はフランスにあるディズニーランド・パリへ行きました。フランスまでは飛行機で二時間ですし、ヨーロッパに住むと気軽に色んな国を訪れることが叶うため留学される際は思う存分旅をして欲しいです！ちなみに、私は根っからのディズニー好きということもあり、3泊4日の滞在をしたのですがインパした日は全日雨と暴風に晒されました。。一瞬で傘が壊れるほどの風の強さで、フランスの夢の国にいるのに気分は遠州でした。

一月の後半には suac の友人と念願のヴェローナへ行きました。普段、学生で溢れたボローニャで過ごしているため、ヴェローナやバルマのような落ち着いた雰囲気包まれた街は時間がゆっくり進んでいるように感じられます。また、イタリアに来てから多種多様な犬を見かけるようになり、最近は犬の観察をすることにもはまっています。地元で見かけることが少ないだけかもしれませんが、ボローニャではシベリアンハスキーが多く飼われている印象です。スピノーネイタリアーノやマレンシープドッグなど家の周りにはイタリアが原産のわんちゃんも多いため出かける際の楽しみでもあります。

[二月の目標]

いよいよ来月で半年間の留学が終了します。一番言語力が付いている今を無駄にせず、たくさん外に出歩き、多くの人と会話して最後まで楽しんで生活したいです。



年越し時のボローニャの斜塔
カオスな雰囲気は自制します、



初めてオペラを観に行きました。
グリーンはボローニャカラーだとか



一時間坂と階段を登るとサン・ルカ教会が！
冬も汗を流せるため運動コースにも適しています！



suac の友人と verona へ